

# 平成16年度第3回産業衛生技術部会企画委員会 議事録

企画委員会

委員長 田中茂（十文字学園女子大）

日 時： 平成16年12月11日（土） 17時から18時30分

場 所： 東京厚生年金会館 ウェルシティ東京

出席者： 田中勇武（産業医大）、名古屋俊士（早稲田大）、中明賢二（麻布大）、原邦夫（労研）、伊藤昭好（労研）、落合孝則（富士通）、田中茂（十文字学園女子大）

欠席者： 加藤隆康（トヨタ自動車）、山野優子（昭和大）、村田克（労研）、今井常彦（東邦大）、野原誠一郎（化繊協会）、神山宣彦（産医研）

議題：

## I. 幹事会の報告

第2回幹事会は、平成16年10月27日にインテックス大阪で開催された。

## II. 産業衛生技術部会大会の開催

1) 2004年10月27日に行われた第10回産業衛生技術部会大会は、参加者80名程度で行われた。

2) 2005年4月開催予定の第11回産業衛生技術部会大会は、東京での産衛大会の開催中に行う。部会実行委員長は、伊藤昭好（労研）で、以下のような内容となった。技術者への提言に重点を置く。

第78回日本産業衛生学会フォーラム（第11回産業衛生技術部会大会）

2005年4月21日（木）15時～17時

メインテーマ：社会的責任と産業衛生技術者の役割

1. 企業の社会的責任と技術者倫理 演者：坂 清次（三菱総研客員研究員）
2. 企業グループの安全衛生の視点から 演者：糸谷亜人（日産自動車）
3. 外資系企業の視点から 演者：山室栄三（日本IBM）
4. レスポンシブルケアとリスクアセスメント 演者：原田靖之（日本化学工業協会）

座長：伊藤昭好（労働科学研究所）

なお、期間中の技術部会の関連行事は、4/20および4/21に集中している。

- ・ 4/20, 10:00-14:30, 研修会（慈恵・1号館）,
- ・ 17:00-19:00 幹事会（慈恵・高木会館）。
- ・ 4/21, 12:00-13:00, 作業環境測定検討委員会,
- ・ 15:00-17:00 フォーラム,
- ・ 17:00-18:00 産業衛生技術部会総会,
- ・ 18:00-20:00 作業環境測定検討委員会の中間報告。

3) 2005年10月下旬の第12回産業衛生技術部会大会の開催は、広島（部会実行委員長：田口豊郁・川崎医療福祉大）で開催予定である。

開催予定日：2005年10月26日（水）

開催場所：広島県立広島産業会館（緑十字展会場内）

予定内容は以下のとおりである。

内容 午前：講演2題（予定）

午後：シンポジウム「シックハウス症候群について」

準備委員会

田口豊郁（川崎医療福祉大） 小河孝則（川崎医療福祉大）

西出忠司（淳風会健康管理センター） 八杉友次郎（中災防 中国四国安全衛生センター）

4) 2006年4月の第13回産業衛生技術部会大会の開催は、仙台（部会実行委員長：板井一好・岩手医大）で行われる予定である。

5) 2006年10月の第14回産業衛生技術部会大会は、新潟の予定である（部会実行委員長：谷井・金沢大学）。なお、この件では、3部会（技術部会、医部会、看護部会）で秋の大会のあり方について検討を開始することから、その結論を待って決定する。本部会からの3部会連絡会議メンバーは、名古屋副部長、落合3部会コラボレーティング委員長、田中企画委員長の3名とし、2005年1/13に会議が行われる予定である。

### Ⅲ. 委員会活動

#### 1) 企画委員会 (委員長: 田中茂・十文字学園女子大)

第1回	平成16年6月12日(土)	東京厚生年金会館	(11名参加)
第2回	平成16年9月18日(土)	同上	(9名参加)
第3回	平成16年12月11日(土)	同上	(7名参加)
第4回	平成17年3月19日(土)	同上	(予定)

#### 2) 教育研修委員会 (委員長: 原邦夫・労研)

2)-1 11/17の研修会の報告は、ホームページを参照。

2)-2 産業衛生技術部会の研修会案内については、第1報を発行済み。動員は、各種機関誌に、表紙写真付きの案内チラシを送って、掲載をしてもらうことや、テキストの研修会であることを強調して、技術部会員に浸透させることを行うこととした。また、研修会を産衛会員以外でも参加できるように「公開」とすることとするように学会事務局に依頼することとなった。また、当面、認証書より、「修了書」の発行とすることとなった。研修後には要望のアンケートも行うこととなった。なお、講習順序を下記に変更した。

・日時: 2005年4月20日 10:00~14:30 (昼の休憩 12:00~12:30)

・場所: 1号館3階講堂,

・参加費: 無料 (テキスト「産業衛生技術入門」(中災防発行)代3000円)

司会: 田中勇武先生(産業医大)・中明賢二先生(麻布大)

講師・テーマ(仮題):

午前(10時~12時)

・岸田孝弥先生(高崎経済大): 人間工学入門

・那須民江先生(名古屋大): 毒性学入門

午後(12時30~14時30)

・北島茂樹先生(産業医大): 産業心理学入門

・長見まき子先生(関西福祉科学大): メンタルヘルス入門

なお、時間配分: 各1時間(40分講演, 20分質疑)

2)-3 2004年度の第4回(2月): コミュニケーション能力とは: 荘司先生(コンサルタント会)を予定していたが、荘司先生が忙しく、来年度7月頃に。そのため、第4回は延期することとした。

3) 広報委員会(委員長: 落合孝則・富士通)は、大学の衛生管理者へのアプローチを始めた。

4) 企業安全衛生グループとの交流委員会(委員長: 野原誠一郎・化繊協)は、今後の取り組みを強化する予定。

5) 表彰委員会(委員長: 田中勇武・産業医大)から産衛の理事会に報告した旨の報告があった。第1回目の表彰を2005年の4月の産業衛生技術部会総会で行うことが了承された。受賞候補者として、申請書類を添えて1名の申請があり、審議の結果承認された。表彰細則では、候補者は2名となっており、次回委員会までにもう1名候補者の推薦を部会員にお願いすることとした。

(候補者の推薦)

候補者名、生年月日、所属、簡単な略歴、推薦理由、推薦者名(所属)を記して3月12日(土) [までに田中勇武 itanaka@med.uoeh-u.ac.jp](mailto:itanaka@med.uoeh-u.ac.jp)宛てご推薦下さい。

(参考: 日本産業衛生学会 産業衛生技術部会奨励賞 細則)

(目的)

第1条 この細則は日本産業衛生学会産業衛生技術部会規定第3条に基づき、日本産業衛生学会産業衛生技術部会奨励賞(以下、奨励賞と言う)を設ける。これは、産業衛生技術の分野における研究または実践活動において、著しい業績を挙げた産業衛生技術部会会員を表彰することにより、産業衛生技術の振興と発展を図ることを目的とする。

(受賞者)

第2条 奨励賞の受賞者は、産業衛生技術部会員であることとする。受賞者数は原則として毎年2名とし、企業から1名、大学または研究機関から1名とする。

(選考委員会)

第3条 奨励賞の選考委員会は、産業衛生技術部会幹事会が選任する産業衛生技術部会会員数名をもって構成するものとする。

① 前項の委員の任期は、産業衛生技術部会幹事の任期機関と連動するものとし、再選を妨げない。

- ② 選考委員長は、産業衛生技術部会長に委嘱するものとする。  
③ 選考委員がやむを得ず選考委員会に欠席する場合は、代理を立てることができる。ただし、選考委員長の了承を得るものとする。

(表彰)

第4条 奨励賞の表彰は、産業衛生技術部会大会開催期間中に行い、受賞者に表彰状と副賞を授与する。

- ① 選考委員長は、表彰に際して選考の経過を報告するものとする。

(付則)

1. この細則は、平成16年12月11日より施行する。  
2. 奨励賞の財源は、産業衛生技術部会初代部会長の中明賢二氏のご厚志によるものであり、中明氏の功績をたたえて奨励賞を通称「中明賞」とする。

- 6) 編集委員会(委員長:神山宣彦・産医研)からは、テキスト「産業衛生技術入門」(中災防発行)作成のために12/6に最終稿を中災防に送付した報告があった。  
7) 許容濃度活用委員会(委員長:名古屋俊士・早稲田大)からは、学会で4月21日18:00から中間報告を行うこととしている旨の報告があった。  
8) 3部会コラボレーティング委員会(委員長:落合孝則・富士通)は、呉の日新製鋼で参加型の研修を行い、有意義な成果が上がったことの報告があった。来年は、10月13-14日、あるいは14-15日に予定しており、中明先生が担当することとなった。  
9) 資格制度検討委員会(委員長:加藤隆康・トヨタ自動車)

欠席であったが、下記の委員長メモが紹介された。

「今の私の考えを率直にお話しさせていただきますと、認定資格と教育と一体であるべきであり、分離されては意味が無いと思います。すでに、教育はスタートしており、カリキュラムなどについても議論されているのではないかと思います。その目的、目指すべき方向が決まっていれば、それに合う認定資格を与えればよく、新たに検討する必要があるのでしょうか。その意味で、原先生の教育研修委員会で検討されるのもよいのではないのでしょうか。認定資格の名称を決め、そのカリキュラムを検討し、研修を始めるとなれば、すでに、今の研修を受講した会員からの不満も多いのではないかと思います」。

これを基に議論がなされ、研修会における受講修了証については発行することとし、資格制度については引き続き議論することとなった。

#### IV. その他

次回 第4回企画員会

日時: 平成17年3月19日(土) 17時から18時30分

場所: 東京厚生年金会館 ウェルシティ東京 (予定)

#### 資料

- 3-1 平成16年度第3回産業衛生技術部会企画委員会  
3-2 代議員の名簿  
3-3 2004 日本産業衛生学会 産業医部会・産業衛生技術部会合同セミナー  
3-4 作業環境測定委員会中間報告(案)

以上